



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yasuo Ueno 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cyo, Ashiya, Hyogo, Japan
 Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp Tel. 0797-32-9360
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Joan Wilson
 「私たちの未来は、今日から始まる」"Our Future Begins Today"
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
 「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"
 西日本区理事 岩本 悟(熊本西クラブ)
 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を」
 "Energizing Y 'Men' Clubs with the Y's spirit!"
 六甲部部长 長井慎吾(西宮クラブ)
 「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ
 活性化を図ろう」
 芦屋クラブ会長 上野恭男
 「ワイズの原点に戻ろう」

会 長 上野恭男
 直前会長 五十嵐政二
 副 会 長 柏原佳子・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・島田 恒
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 柳原謙介
 六甲部交流主査補佐 五十嵐政二

7
 July, 2016
 230号

楽しい例会を目指します

会長 上野恭男



「ワイズの原点に戻ろう」2回目の会長をお引き受けするに当たり、こんな標語を掲げさせていただきました。

ジョージ・ウィリアムスがアメリカでランチョンクラブ・ワイズメンズクラブを結成した当時を顧みて、いま思うことは西日本区の現状です。YMCAへの

奉仕にボランティアティを見出し、西日本区 1,500 人が集っている今を考察すると、あまりにも余裕のなさを感じます。

トップ・ランチョンクラブのロータリークラブに並べとは言いませんが、豊かな奉仕をする心を持ってボランティアをするワイズメンズクラブには、高齢化もあるにせよ周囲を見回す余裕をもってほしいのです。

同じ職種の複数化を禁じ、異業種交流を図り、自身の利益にもつなげるランチョンクラブとはかけ離れてきている現状を想います。理想主義者であれとワイズの入会式で誓約しますが、2時間の例会を待ち遠しく思うような楽しく新鮮なものにし、さらに会員の絆と理解を深めたいものです。

芦屋クラブはYMCAを地元を持たず、お互いの暖かな交流を糧として発足し、現在に至っています。近隣のクラブに目を向け、六甲部、西日本区への関心をもっと持つと世界が広がってきます。井の中の蛙にならないように、少しだけ視野を広げましょう。自らも反省して、これからのクラブ運営は、「楽しくなければワイズじゃない」を更に推し進め、今まで以上に会員の融和を大事にしていきたいと思えます。

今月の聖句

「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」

<ヨハネ福音書 15:13>

7月第1例会プログラム

と き: 2016年7月20日(水) 19:00~21:00

と ころ: 芦屋市民センター 203号室

司 会: 柏原佳子ワイズ

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 五十嵐政二直前会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 5. 会長引き継ぎ式司式 | 長井慎吾六甲部部长 |
| 6. 会長挨拶 | 上野恭男会長 |
| 7. 六甲部部长訪問挨拶 | 長井慎吾六甲部部长 |
| 8. 食前感謝 | 権 甲植ワイズ |
| 9. 食事歓談 | |
| 10. メンバーズスピーチ「ブラジルあれこれ」 | 上野恭男ワイズ |
| 11. 第2例会議事録の承認と事業報告 | 上野恭男会長 |
| 1) 第2例会議事録の承認 | |
| 2) 事業委員報告・その他 | |
| 12. YMCAの報告と連絡 | 柳原連絡主事 |
| 13. ニコニコ献金報告 | 島田 恒ワイズ |
| 14. 誕生祝い | |
| 篠坂幸彦ワイズ、都筑省三ワイズ、羽太英樹ワイズ | |
| 15. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

6月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	12名	出席者	12名	
ビジター	1名	メイクアップ	2名	
ゲスト	8名	合 計	14名	
メネット	2名	在籍者	17名	
コメント	名	(内広義会員1名)		
合 計	23名	出席率	82.35%	
				ニコニコ
				6月 13,000円
				累計 166,995円

6月第1例会報告 賑やかなカポエイラの夜

日時：2016年6月15日(水)19:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋

出席者：五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子
篠坂幸彦、島田恒、都筑省三、羽太英樹、福原吉
孝坂東幸子、大澤二郎(各メン)五十嵐かほる、福
原美鈴(各メネット) 柳原謙介(連絡主事)

ビジター：菅原メネット(神戸クラブ)

ゲスト：レナード・レオン(カポエイラ師範)

マロウ・リカルドシマオ(モザンビーク出身の神戸大学
大学院生)、山口佐菜恵夫人(解説・通訳)レナード・
ジョバンニ(ご子息)お友達、上野良治、森下一之介
(島田ワイズ友人)長竹孝夫(篠坂ワイズ友人)

6月例会は、五十嵐会長の開会点鐘で開始となった。クラ
ブソング、聖書朗読と続き、ビジター・ゲストの紹介があり、ブラ
ジルで有名な格闘技のカポエイラの師範と生徒、奥様の
自己紹介があった。都筑ワイズの食前感謝があり、賑やか
に会食となった。

今回は、ブラジルの伝統あるカポエイラの演技が拝見できる
良い機会であった。佐菜恵夫人から今年オリンピックを開催
するブラジルの紹介があった。レナード・メストレ(mestre)師
範よりカポエイラ(ポルトガル語:Capoeira)の解説があり、ブラ
ジル発祥の格闘技で音楽とダンスの要素が合わさったブラ
ジルの文化であり2014年にはユネスコによって無形文化
遺産に登録されている。ただ、権力に抵抗する手段とみなさ
れ、長い間禁止された歴史があり、その為に踊りの練習に
見せかけ、ビリンバウやバンデイロなどの楽器を使って鍛錬し
たとのことである。



いよいよレナード
師範以下弟子の
マロウ氏と可愛い
ジョバンニとそのお
友達(かわいらしい
女の子)が「けい
こ着」と階級を
表わす帯を着用
して演技の開始と

なった。カポエイラの楽器に合わせて踊るような二人の可愛
い演技に拍手の応援となった。サンバの踊りの様でもあり、
街中で若者が踊るブレイクダンスにも似ている様でもある。
本来は空手やテコンドに近い格闘技である。さすがに鍛えら
れた大柄なレナード師範とマロウ氏の演技は、格闘技の力
強さがあり迫力満点、驚きの声上がり、大きな拍手でいっ
ぱいになった。楽器も独特で音楽に合わせて踊る演技は、
殆どの方は初めて見たのではないのでしょうか・・・その後、会
場はリオのカーニバルとなった。レナードmestreより、サンバの
ステップ指導があり、会場に流れるサンバのリズムに合わせて、
参加者全員はサンバのダンスを汗をかきながらも楽しい雰囲気
の中で踊り、笑顔いっぱい締めくくられた。陽気で明るい
ブラジルを思わせる。カポエイラは格闘技と音楽、ダンスの要
素の加わったブラジルの文化そのものであり、華やかなカーニ
バルを想像させる。大変、楽しい時間であった。

その後、大澤ワイズにみどり基金贈呈、第二例会議事録
承認、YMCA報告、誕生祝があり、五十嵐会長の閉会
点鐘となった。

福原吉孝

第19回西日本区大会第1日目に参加して

6月25日~26日に第19回西日本区大会が大阪・松下
IMPホールで開催され、芦屋クラブからは五十嵐政二会長
夫妻、上野恭男、島田恒、桑野友子、柏原佳子、福原
吉孝各メンと私の8名が参加した。アジア地域会長、東
日本区役員など含め総勢750名余の盛会であった。大会



第一日は例年
のごとくパナーセ
レモニーで始ま
り、プログラムに
したがって取り
進められた。今
回は「東日本
大震災をあら
ためて考える」
が特別テーマと

して企画され、全員で「花は咲く」の大合唱も行われた。熊
本ジェーンズクラブ立野泰博メンと石巻広域クラブ清水弘
一メンの心に残る報告があった。立野メンは日本福音ルー
テル教会の牧師でもあり、阪神・淡路大震災、東日本大
震災そして今回の熊本地震で、ボランティアとして奉仕され
た経験を熱く語られた。石巻では被災者が最も求めている
ものをYMCA・ワイズと協力して聞き取ることから始め、「現
場の苦悩にどのようにしたら寄り添えるか？」を問いつつ活動
し、臨床宗教師として地元の被災者の人たちから「ルーテル
さん」と親しく呼ばれるまでになったという。参加者みんなが涙
の出る思いでスクリーンに映し出された写真を見た。それは
前方のがれきを悲しみつつ眺めているおばあさんの背中の後
ろ数メートル離れたところに赤いランドセルが二つ。津波でさ
らわれた孫たちのものか？・・・立野牧師はおばあさんとラン
ドセルの間の離れた空間にキリストが立っておられると語られ
た。多くの家族を亡くされた人たちの「なぜ？」の質問に答え
るヒントがこの写真の中にあるように感じた。続いて清水メン
はYMCAとワイズの連携による支援活動が震災直後から
始まり今も子どもたちの野外活動や、高校生のボランティア
育成プログラムなど支援活動が続いており、今後ともワイズ
にはやることはたくさんあると語られた。

第二部は場
所をホテルニ
ューオータニ
大阪に移し、
懇親会が行
われた。この
機会にDB
C熊本みな
みクラブの熊
本地震支援
活動のため



に芦屋クラブからの見舞金を五十嵐会長から池澤誠会長
に贈呈した。会食と多くのワイズとの楽しい語らいに時間は
アツという間に経ち、大会第一日目は過ぎ去っていった。

羽太英樹

久しぶりの韓国、その変貌ぶりに驚き！

◇久しぶりの韓国、その変貌ぶりに驚きました。

権先生の念の入ったサポートによって、見学や解説、それに本格的な韓国料理をいただいたことも記憶に刻み付けられました。青瓦台、記念館、周辺の花飾りも美しかった思い出です。林立する高層住宅、下町商店街は活力が感じられました。

最終日の午前、自由時間をいただいて五十嵐夫妻とともにソウル YMCA を訪問した経験を報告してシェアしておきたいと思えます。

ソウル YMCA は鐘路地区、ホテルから河を渡ってタクシーで40分(権先生のアドバイス通り、日本の半値くらい。安かった!)、古いが高層のビル。日本語を話せる幹部の説明を聞き、礼拝堂、講堂、柔道場、プール、事務所等を案内いただきました。地域が高齢化しているので、若い世代の活動は市内のサテライト(ホテル近くにも大きい施設がある)へと軸足を移しているとの説明でした。クリスチャンが多い(人口比30%弱)韓国社会に馴染んだ活動を続けている様子が伺えました。

その後、館内にあるワイズメンズクラブ韓国地域事務所に案内いただきました。韓国は大きな力を持っていて、先年アジア地域から脱退して独自のエリアを設定したのでした。事務局長 金均氏・ソウル地域総裁 崔鐘相氏としばし歓談することができました。ファミリアな交流でしたが、権先生の言われていた通り、やりだしたら止まらずとことんやるという雰囲気を感じました。こちらの体力を強化して臨まなければ・・・という感覚でした。

YMCA、ワイズメンズクラブの資料をいただきましたので、ご興味のある方はおっしゃってください(でもハングル記載だからな～。バスで福原団長にハングルの指南を受けた程度では読めないな～)。楽しく有意義な旅行有難うございました。

島田 恒・島田保子



◇宮廷、民俗村の散策は、韓国TVでの映像が重なり、李王朝の歴史や風俗がガイドさんの流暢な日本語の説明でより鮮明になりました。絹織物の美しさは今も目に焼きついていて、貴女はチャ・チョゴリが似合いそうと言われたのも嬉しいお土産話です。

今回参加出来なかつた倫子さまなら美しい字でさらさらと一筆、詠まれたことと友を想います。3日間の旅行とは思えないたっぷりの満足感に感謝しています。

柏原佳子

◇久しぶりの韓国旅行で、ソウル市街の高層ビルが立ち並び様と整備された高速道路に走行する高級車の多さに目を奪われその発展ぶりに驚かされた。高級な宮廷料理、韓国焼酎を愉しみ、李王朝の時代の屋敷や宮廷、大統領官邸見学も楽しい時間であった。

夜には、権先生、上野メン、島田メンと街中へ出掛け、生きた飯蛸の刺身、ホヤのなんと新鮮だったこと、韓国の海産物は美味しいですね・・・また、生真面目で一生懸命なガイドさんも非常に好感が持てた。兎に角、楽しい旅でした。最後に御世話を頂いた権先生と奥様のご配慮のお蔭であると心から感謝致します。

福原吉孝

◇私はいわゆる韓流映画に染まっておりませんが今度の旅ですっかり韓国の虜になってしまいました。昌徳宮はじめ、韓



国の爽やかな心がまちづくりにも現れてよく整備され自国を思う人たちの心が伝わってくるようでした。そして日本語巧みなガイドさんの言葉どおり、韓国のエコに

対する真剣な取り組みには感動し大なる敬意を覚えました。泊めていただいた超一流のホテルには、引き出しの中に有料の、燃えるゴミになる材質の洗面具などが整然と並んでいました。日本もぜひ真似たいことです。私はその竹の柄の歯ブラシを大切に持ち帰っています。

楽しかった、美味しかった、本当に良いスポットばかりご案内くださった権先生のご尽力に感謝するばかりです。これで言葉が話せたらどんなに良かったでしょう！ 五十嵐かほる

◇友人二人と一緒に参加させていただいて、気持ちよくお仲間に入れていただけたことが、とても嬉しい旅行になりました。韓ドラで見えていて、ちょっと憧れていた宮廷料理でしたが、こんなものなのかと納得も出来、また民俗村では、ドラマの撮影場面そのものが、あちらこちらにあり、興味深く、面白かったです。友人達もメンバーに溶け込み、楽しい会話ははずみ、喜んでくれたことを、心より感謝申し上げます。 坂東幸子



◇この度は韓国旅行に心よく入れていただき感謝の気持ちです。素敵の皆様と一緒に色々な所を見学したり、食事を頂いたり、とっても楽しい思い出が出来、その上驚いたことに五十嵐先生が、私の学生時代の部長先生だったり、柏原様と共通の知り合いがあり、その時お嬢様のことをお聞きしたので、帰宅後、スケート連盟の設立50周年誌を開いて、お嬢様由起子さまのことがいろいろでいて、とても不思議なご縁があるものと、びっくりいたしました。 野口庸子

◇坂東様のおさそいで韓国旅行に皆様と一緒に出来まして、楽しい2泊3日の旅ができました。どれも満足いく日程で、お世話下さいました皆様にお礼を申し上げます。今度また行く機会がありましたら、ハングル語を少しは勉強して行きたいと思っています。

吉岡洋子

おこわり 皆様楽しみにされている篠坂ワイズのエッセー「ツグミン」最終回《ツグミンお元気で！》は紙面の都合上、8月号に掲載しますのでお待ちください。

六甲部第3回評議会の報告

6月18日(土)16時よりユースプラザKOBE・EASTで六甲部としては初めての第3回評議会が開催されました。

六甲部部則が昨年改正され、1/3以上の会員が参加して評議会が成立することになったので、連絡主事を会員に含めるかどうかで話し合わせ、含めても今回は1/3以上となることを確認して審議に入りました。

芦屋クラブからは五十嵐会長、柏原、桑野、篠坂、島田、上野の各ワイズと柳原連絡主事が参加しました。

第1号議案は「部長の輪番制の付則の改正の件」で、審議の結果、部則第5条の附則、部長ならびに事業主査の輪番は、原則として次の順番で受け継ぐこととする。なお、立候補の場合、役員会に諮り決定する。事情により輪番が受けられない場合は、評議会で承認を受け先送りすることを認める。但し、1年後には輪番を受けられることができるよう体制を見直すこととし、翌年は先送りした輪番に戻る。先送りして輪番を受けたクラブは、その順は輪番になったことになる。

以上の下線部分を追加することになった。

第2号議案はさんだクラブ以降の輪番クラブの次期部長受諾の件で、さんだクラブより受諾できない理由説明があり、全会一致で承認されました。さんだクラブ先送りの結果、神戸学園都市の輪番が審議され、杉本隆人ワイズの次次期六甲部部長が決定しました。 上野恭男

第2例会議事録(抄)

日時: 6月22日(水) 18:00~20:00

場所: H竹園1Fララー個室

参加者: 五十嵐会長、上野次期会長、柏原、桑野、島田、羽太、福原、篠坂(各ワイズ)柳原連絡主事

◇第1例会の予定

- ・8月第1例会はウクレレ演奏など検討する。柳原連絡主事又は上野次期会長が検討
- ・9月以降の例会のメインゲストは五十嵐ワイズの協力、クラブメンバーの推薦をお願いする

◇第3回評議会報告

五十嵐会長より、6月18日に開催の第3回評議会で神戸学園都市クラブ杉本隆人ワイズの次次期六甲部部長を承認したことを報告

◇熊本地震神戸YMCAユース派遣の経費支援要請は、内容、金額など大幅に変更があったので、再要請あるまで保留にする旨五十嵐会長より報告

◇2016-17年度の第2例会会場を検討する

7月27日(水)は芦屋市民センター205号室

◇2016-17年度例会会費改訂が上野次期会長より提案され、出席者全て3,000円と決定

◇5月会計報告が羽太会計よりあり、承認された

◇さくら祭り備品の保管場所を検討し、鉄板は上野ワイズ宅駐車場、ポリタンクとプラスチック桶などは柏原ワイズ宅、開封されていない材料は桑野ワイズ宅で保管することを決定。開封した材料は適宜処分し持ち越さないことを決定

◇6月6~8日の韓国旅行の報告が、韓国YMCA訪問など福原団長からあり、権ワイズ夫妻のご尽力に感謝が述べられた

◇7月30日(土)15時~

六甲部第1回評議会・8クラブ納涼例会は元町ラッセホールで開催。全員の参加をお願いします

YMCAニュース

◇創立130周年記念日礼拝

5月8日(日)創立130周年記念日礼拝を、日本基督教団神戸教会にて100名の参加者とともに守ることができました。菅根先生による「原点に立ち返って」というメッセージでは、神戸YMCAの創立時代の人物や背景について、人も組織も生きている限り選択の連続であるということ、表面的には潤っている土地を短絡的に選択することではなく、敢えてイズミが湧き出る荒地地を選択することの大切さを力強く語っていただきました。

◇シアトルYMCA来日

5/11~17の期間、シアトルYMCAと神戸YMCAのユース交流事業が50周年を迎えた記念に、8名のスタッフが来日されました。期間中、ランチ見学、京都観光、姫路観光、余島訪問などを楽しんでいただきました。5/15は神戸まつりパレードにも初参加していただきました。なんと、先頭がディズニー、2番目が神戸市長・シアトル市長、3番目がYMCAという順番で行進しました。

◇ボランティア研修会・委嘱式

5/15に西宮市大学生交流センターにて、2016年度ボランティア研修会及びリーダー委嘱式が開催されました。研修会のテーマは「体験学習」。体験をより確かなものにするために、私たちは普段どのように体験を学びに変えているのか。長尾文雄氏(フリーランス)を講師にお招きして、実際に体験しながらそのメカニズムを学びました。引き続き行われた委嘱式では、井上総主事から「多様性」についてのメッセージが語られ、野外活動やキャンプを通して、これから大きな役割を果たしていくユースリーダーたちに、委嘱状が渡されました。

◇ワールドチャレンジ2016

ワールドチャレンジとは、6月6日のYMCA生誕に合わせ、世界中のYMCAが一斉に行うイベントで、YMCAで活躍するユースの姿や、YMCAそのものをアピールすることが目的です。

今年のテーマは「ユースの声を届けよう~Give a voice to Young People」として、学生やユースリーダーなどYMCAに連なるユースの声に耳を傾けたり、ユースへの応援メッセージを送るなどを通してユースの声を社会に発信してきました。

神戸YMCAでも、YMCAちとせ幼稚園やファミリーウエルネスセンターで活動を行いfacebookを通して発信しました。

<公式 Facebook ページ>

Japan YMCA World Challenge:

<https://www.facebook.com/JapanYMCAWorldChallenge>

編集後記: 今期もブリテン編集を担当します。報告だけでなく楽しい話題やエッセー等、皆様の積極的な投稿をお待ちしております。 桑野友子